

一般社団法人日本肝胆膵外科学会  
2022年(令和4年)度事業報告書  
※2022年4月1日～2023年3月末まで

**1:肝胆膵の外科に関する学術集会の開催**

第34回(2022年)日本肝胆膵外科学会・学術集会を開催した。

会長: 高田 泰次(愛媛大学 肝胆膵・乳腺外科学講座)

テーマ: お作法と工夫

会期: 2022年6月10日(金)・11日(土)

会場: 愛媛県県民文化会館(ハイブリッド形式にて開催)

1,079題の演題が集り、参加者は2,155名(うち、現地参加者数は1,265名)であった。

**2:機関誌の発行**

・発行について

本学会英文機関誌 Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences (JHBPS)を発行し、Monthlyに発刊し、冊子は評議員の先生方に送付した。

29巻4号 2022年4月	1,734部発刊(オンラインジャーナルも含む)
29巻5号 2022年5月	1,734部発刊(オンラインジャーナルも含む)
29巻6号 2022年6月	1,850部発刊(オンラインジャーナルも含む)
29巻7号 2022年7月	1,850部発刊(オンラインジャーナルも含む)
29巻8号 2022年8月	1,850部発刊(オンラインジャーナルも含む)
29巻9号 2022年9月	1,850部発刊(オンラインジャーナルも含む)
29巻10号 2022年10月	1,850部発刊(オンラインジャーナルも含む)
29巻11号 2022年11月	1,850部発刊(オンラインジャーナルも含む)
29巻12号 2022年12月	1,850部発刊(オンラインジャーナルも含む)
30巻1号 2023年1月	1,850部発刊(オンラインジャーナルも含む)
30巻2号 2023年2月	1,850部発刊(オンラインジャーナルも含む)
30巻3号 2023年3月	1,850部発刊(オンラインジャーナルも含む)

・Impact Factor について

Impact Factor 3.149(令和3年(2022年)7月発表文)

(Surgery 分野 211誌中 70位)

(Gastroenterology & Hepatology 分野 93誌中 71位)

**3: 2022年6月社員総会終了後の役員変更**

退任理事(8名、五十音順、敬称略)

海野倫明、大段秀樹、大坪毅人、国土典宏、佐野圭二、鈴木康之、高田泰次、吉田雅博

再任理事(15名、五十音順、敬称略)

1 江口 晋(長崎大学)

2 遠藤 格(横浜市立大学)

- 3 大塚 将之(千葉大学)
- 4 庄 雅之(奈良県立医科大学)
- 5 調 憲(群馬大学)
- 6 武富 紹信(北海道大学)
- 7 田邊 稔(東京医科歯科大学)
- 8 中郡 聡夫(東海大学)
- 9 永野 浩昭(山口大学)
- 10 中村 雅史(九州大学)
- 11 波多野 悦朗(京都大学)
- 12 平野 聡(北海道大学)
- 13 藤井 努(富山大学)
- 14 堀口 明彦(藤田医科大学)
- 15 力山 敏樹(自治医科大学附属さいたま医療センター)

新任理事(5名、五十音順、敬称略)

- 1 江口 英利(大阪大学)
- 2 江畑 智希(名古屋大学)
- 3 里井 壯平(関西医科大学)
- 4 永川 裕一(東京医科大学)
- 5 長谷川 潔(東京大学)

2022年6月10日社員総会終了後の理事会において、本学会代表理事として、遠藤 格が選任された。  
また、副理事長として、調 憲が選任された。

#### 4: 2022年6月社員総会終了後の学会幹事変更

再任学会幹事(4名、五十音順、敬称略)

- 1 板野 理(国際医療福祉大学)
- 2 大塚 隆生(鹿児島大学)
- 3 日比 泰造(熊本大学)
- 4 元井 冬彦(山形大学)

新任学会幹事(6名、五十音順、敬称略)

- 1 池上 徹(東京慈恵会医科大学)
- 2 岡野 圭一(香川大学)
- 3 齋浦 明夫(順天堂大学)
- 4 進藤 潤一(虎の門病院)
- 5 松本 逸平(近畿大学)
- 6 丸橋 繁(福島県立医科大学)

#### 5: 高度技能専門医認定に関する事業

2022年6月

高度技能専門医書類審査委員会(旧:高度技能専門医・指導医資格認定委員会)

新規申請

165名の申請者のうち、79名が認定、86名が非認定となった。

書類審査については165名の申請者のうち、初回申請者の112名の審査を行い、87名を合格とした。書類審査における主な非認定理由はスケッチを含む手術記録(写)の内容の不備や手術適応に疑問がある症例を除くと規定の症例数を満たさないなど。

ビデオ審査については、本年の書類審査合格者と書類審査免除者あわせて140名の審査をそれぞれ3名の審査委員が行い、1人が不合格と判断した申請者について審査を行った3名の審査委員にそれぞれの審査コメントを匿名にて回覧し、審査結果の再検討を依頼した。その結果、最終的に3名の審査委員全員が合格としたビデオは合格、なお1名が不合格と判断したビデオについてはさらに1名の審査委員が審査を行った後、委員会にて討議のうえ、可否を判断した結果79名を合格とした。

#### 更新申請

2012年および2017年に認定された高度技能専門医・指導医の更新申請審査が行われた。

高度技能専門医については56名中54名が申請を行い54名全員更新可能、高度技能指導医については57名中52名が申請を行い51名が更新可能と判断した。名誉指導医については、クレジット不足のため更新が行えなかった高度技能指導医1名を含む5名を認定し、高度技能専門医・指導医併せて3名が申請を行わず失効に同意した。

以上により、2022年審査終了時点で、高度技能専門医認定者497名、高度技能指導医認定者505名となった。

#### 修練施設認定委員会

##### 新規申請

修練施設Aは3施設、修練施設Bは10施設から新規申請が行われた。結果、施設Aは2施設、施設Bは6施設を新たに認定した。非認定となった施設の主な非認定理由はスケッチを含めた手術記録の記載内容が乏しい症例や高難度肝胆膵外科手術として認められない症例を除くと規定の症例数を満たさないため。

##### 修練施設再認定

再認定申請については6施設から申請がなされ1施設を修練施設A、4施設を修練施設Bとして認定した。なお、1施設は死亡率が他の修練施設に比べ高いため今回は認定を見送った。

##### 修練施設更新申請

2012年および2017年に認定された修練施設について更新審査が行われた。修練施設Aの6施設および修練施設Bのうち基準を満たしていた17施設については問題なく更新を認める。また、修練施設Bのうち、修練施設Aへの区分変更を希望していた4施設のうち以下の3施設は区分変更を認めることとした。なお、1施設は近年死亡率が高い傾向にあるためサイトビジットを行った結果、修練施設Aへの区分変更は見送り、もう5年修練施設Bとして認定を継続することとなった。

以上により、すべての施設の更新を認めると2022年審査終了時点で、高度技能専門医修練施設Aは137施設、修練施設Bは151施設、計288施設となる。

(2022年7月末現在の高度技能専門医、高度技能指導医、修練施設数)

高度技能専門医修練施設A…137施設

高度技能専門医修練施設B…151施設

肝胆膵外科高度技能専門医…497名

## 6: 本学会運営と活動

### <1> 会員数

2022年3月31日現在: 3,568名

2022年4月1日以降 2023年3月31日まで

新入会: 160名

退会: 194名

本人申出\_68名

逝去\_0名

強制退会\_126名

2023年3月31日現在: 3,534名

内訳 名誉理事長\_2名

名誉会員\_50名

特別会員\_84名

評議員\_1,556名

Japan HPB passport(評議員)\_96名

正会員\_1,744名

Japan HPB passport(正会員)\_2名

### <2> 物故者(2022.4.1~2023.3.31に事務局に届出があったもの)

なし

## 7: 各種委員会等

本学会が目的とする事業を達成するため下記委員会において調査研究、機関誌の発刊、学術集会の開催、専門医制度の運営、関係機関に対する要望・協議、提言、その他について検討した。

- ・将来検討委員会(委員長 遠藤 格)
- ・財務委員会(委員長 江口英利)
- ・編集委員会(委員長 大塚将之)
- ・高度技能専門医制度委員会(委員長 永野浩昭)
- ・技術認定委員会(委員長 波多野悦朗)
- ・修練施設認定委員会(委員長 田邊 稔)
- ・高度技能専門医書類審査委員会(旧:高度技能専門医・指導医資格認定委員会)(委員長 藤井 努)
- ・Scientific Committee(委員長 平野 聡)
- ・教育委員会(委員長 武富紹信)
- ・規約委員会(委員長 調 憲)
- ・倫理委員会(委員長 中郡聡夫)
- ・国際交流委員会(委員長 江口 晋)
- ・評議員選考委員会(委員長 力山敏樹)
- ・保険診療委員会(委員長 田邊 稔)
- ・学会賞選考委員会(委員長 庄 雅之)

- ・利益相反委員会(委員長 里井壯平)
- ・安全管理委員会(委員長 調 憲)
- ・転移性肝がん国際診療ガイドライン委員会(委員長 長谷川 潔)
- ・胆道癌診療ガイドライン委員会(委員長 大塚将之)
- ・胆道癌登録委員会(委員長 堀口明彦)
- ・胆道癌取扱い規約委員会(委員長 江畑智希)
- ・プロジェクト委員会(委員長 中村雅史)
- ・国際合同プロジェクト委員会(委員長 中村雅史)
- ・Japan Chapter(A-P HPBA/IHPBA)(委員長 長谷川 潔)
- ・内視鏡外科関連委員会(委員長 中村雅史)
- ・肝臓移植外科関連委員会(委員長 江口 晋)
- ・広報委員会(委員長 中郡聡夫)
- ・地域教育セミナー委員会(委員長 庄 雅之)

## 8: 各種委員会活動まとめ

- ・ 本学会の協力学会である IHPBA(International Hepato-Pancreato-Biliary Association)の第 15 回 Congress が 2022 年 3 月 30 日～4 月 2 日に New York で開催された。
- ・ 2022 年に日本医学会に加盟したことにより、4 月 22 日理事会にて同会の委員が決定した。  
(敬称略)  
評議員:遠藤 格(本学会理事長)  
連絡委員:調 憲(本学会副理事長)  
用語委員:武富紹信(本学会理事)  
用語代委員:永川裕一(本学会学会幹事)  
第 31 回(2023 年)日本医学会総会登録推進委員:遠藤 格(本学会理事長)
- ・ Observership to Japan アジア人医師受け入れ留学制度により、  
Vaibhav Kumar Varshney(インド)・・・2022 年 4 月 1 日より東京大学(指導者:長谷川 潔)にて 3 か月間修練した。  
Chaw Phyu Phyu Than(ミャンマー)・・・2022 年 8 月 14 日長崎大学(指導者:江口 晋)にて 3 か月修練した。  
Dr. Saleema Begum(パキスタン)・・・2023 年 6 月から広島大学にて修練開始予定であったが、本人の諸事情により 2023 年 1 月に留学キャンセルの申し出があった。
- ・ 2022 年 4 月 22 日理事会にて、E ラーニングによる教育プログラムコンテンツ作成を中心に活動する教育委員会(委員長:武富紹信理事)が設立した。
- ・ 2022 年 5 月 12 日、胆道癌登録の NCD への実装が完了した。
- ・ 2022 年 5 月 20 日臨時理事会にて、2022 年度学会幹事 10 名が選任された。
- ・ 2022 年 6 月 10 日社員総会にて、2021 年 12 月に実施した Next Generation Project(NGP)ワーキンググループによる 45 歳以下の若手医師を対象にしたアンケートの集計結果が発表された(HP でも公開)。
- ・ 2022 年 6 月 10 日社員総会にて、各種授賞式を行った。(敬称略)  
査読賞(30 名)  
1 位 永井一正、2 位 庄 雅之、3 位 青木 琢、3 位 江口英利 他 26 名  
高田賞(2 名)  
5-years citation award:青木修一(東北大学大学院 肝胆膵外科)

2-years citation award:永川裕一(東京医科大学 消化器・小児外科)

理事長賞(3名)

上本裕介(京都大学大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科)

加藤紘隆(和歌山県立医科大学第2外科)

嶋 達夫(東北大学大学院 消化器外科学分野)

学会賞(2名)

1位 寺崎史浩(静岡県立静岡がんセンター)

2位 松木裕輝(横浜市立大学)

- 2022年6月10日社員総会にて、名誉会員・特別会員が推戴された。(敬称略)  
名誉会員推戴:久保正二、窪田敬一、土田明彦、若林 剛  
特別会員推戴:内山和久、江川裕人、大東弘明、萱原正都、川崎誠治、窪田敬一、  
島田和明、竹田 伸、山本雄造  
海外名誉会員推戴: Howard A. Reber (USA)
- 2022年6月10日社員総会にて、評議員選考委員会および理事会の審査を経て、  
2022年度新評議員として155名が選任された。
- 2022年6月10日社員総会にて、高難度肝胆膵外科手術の定義の改訂、および修練施設  
更新に最大2年の猶予を認めることについて報告された。
- 2022年度NCDデータを利用した消化器外科領域研究課題研究について、プロジェクト委  
員

会および理事会の審査を経て、下記の2題が採択された。(敬称略)

研究代表者:調 憲

所 属:群馬大学大学院総合外科学講座肝胆膵外科分野

研究課題名:高齢者に対する腹腔鏡下肝切除の適応状況と術後成績  
-開腹肝切除との比較を含めた検討-

研究代表者:波多野悦朗

所 属:京都大学大学院附属病院 肝胆膵・移植外科

研究課題名:スク調整後アウトカム指標を用いた高難度肝胆膵外科手術のNCD参加後  
経時的パフォーマンス評価と影響分析

- 2022年度公募プロジェクト研究については、プロジェクト委員会および理事会の審査  
を経て、下記2題が採択された。(敬称略)

研究代表者:波多野悦朗

所 属:京都大学大学院附属病院 肝胆膵・移植外科

研究課題名:細胆管細胞癌の臨床病理学的特徴とその臨床的意義

研究代表者:有明恭平

所 属:東北大学 消化器外科

研究課題名:腹腔洗浄細胞診陽性膵癌に対し切除の是非を明らかにするための  
比較研究

- 2022年9月22日に、合同プロジェクト研究(日韓)の公募が開始された。
- 2022年度の地域教育セミナー開催は中止された。
- 2022年12月1日、本学会と大腸癌研究会の事業である大腸癌肝転移データベースを利用  
した研究の公募を開始した。
- 2022年12月2日理事会にて、本学会プロジェクト研究等の研究費について定める細則が  
施行された。

- ・ 2023年10月からインボイス制度が実施されることから、2022年12月2日理事会にて、本学会が適格請求書発行事業者として登録することが決議された。
- ・ 2022年12月2日理事会にて、本学会英文機関誌 JHBPS の出版社Wileyとの契約を更新することが決議された。
- ・ 2022年12月2日理事会にて、胆道癌診療ガイドラインは2023年から2024年の発刊を目指し、4版への改訂作業が進められていることが報告された。
- ・ 2022年12月2日理事会にて、①Eラーニングの1コンテンツ(30分)のクレジット点数を現行と同じ(3点)とする、②各種申請時に、学術集会参加点数2点(1学術集会参加につき1点)の提出を必須とすることが決議された。なお、2024年学術集会より教育プログラム(クレジット付き)についてはEラーニングのみで取得可能となる。
- ・ 2023年2月1日、本学会公式 Twitter が開設された。

## 9: その他

2022年6月10日社員総会にて、2025年第37回本学会学術集会会長として、調 憲理事(群馬大学大学院医学系研究科総合外科学講座肝胆膵外科 教授)が就任することが承認された。

場 所:軽井沢プリンスウエスト(予定)

テーマ:ASSIST NEXT GENERATION

## 10: 開催理事会・社員総会について

＝理事会＝

(定例)日時:2022年4月22日(金)14時00分～17時30分/Web(ZOOM)

(臨時)日時:2022年5月20日(金)15時00分～15時40分/Web(ZOOM)

(定例)日時:2022年6月9日(木)15時30分～18時30分

会場:ANA クラウンプラザホテル松山 本館 3階ローズルーム

(定例)日時:2022年12月2日(金)13時00分～16時30分/Web(ZOOM)

＝社員総会＝

日時:2022年6月10日(金)17時10分～19時50分

会場:愛媛県県民文化会館 本館 1F「メインホール」